

新たな情報開示モデルとIRの実証的効果測定 中間報告書

2010年3月

I コーポレート・ガバナンス

- 第1章 取締役会改革とIR
・・・加賀谷哲之（一橋大学） 9
- 第2章 企業のリスク情報開示行動とコーポレート・ガバナンスとの関係
・・・金 鉉玉（東京経済大学） 27
- 第3章 コーポレート・ガバナンス、BCM、IRの関係性
・・・加賀谷哲之（一橋大学） 47
- 第4章 完全子会社化における利益調整行動
・・・矢部謙介（名古屋商科大学）
青木康晴（名古屋商科大学） 67

II 財務報告・開示の信頼性

- 第5章 企業の業績予想バイアスと証券アナリストの関係
・・・円谷昭一（埼玉大学） 85
- 第6章 ストック・オプションの中止と株式市場の反応
・・・竹口圭輔（法政大学） 95
- 第7章 財務報告におけるグラフの研究
・・・川島健司（法政大学） 113

III 税務情報・税務リスク

- 第8章 利益公表に対する市場の反応—税金情報に対する市場の反応を分析する手掛かりとして—
・・・米谷健司（山口大学） 129
- 第9章 税務リスクの自発的開示とその可能性
・・・大沼宏（東京理科大学） 143